

## 平成26年度 大阪市社会教育委員会議 第1回全体会 議事録

1. 日 時 平成26年6月12日(木) 午前10時から11時40分
2. 場 所 総合生涯学習センター 第一研修室
3. 出席者  
(委員)  
岩槻委員・岡田委員・笹川委員・佐藤委員・首藤委員・前田委員・宮田委員・  
八幡委員・森下委員  
(教育委員会事務局)  
山本教育長、森本生涯学習部長、濱崎生涯学習担当課長、藏田社会教育施設担  
当課長、植木文化財保護担当課長、松村生涯学習担当課長代理  
(こども青少年局) 谷口青少年課長  
(経済戦略局) 大上文化課長
4. 議事概要
  - (1) 開会
  - (2) あいさつ
  - (3) 出席委員・出席関係職員紹介
  - (4) 議案
    - ・ 社会教育委員会議の役員について
    - ・ 社会教育委員会議への諮問について
    - ・ 小委員会の設置について
  - (5) 報告
    - ・ 社会教育委員の異動について
    - ・ 社会教育関係職員の異動について
    - ・ 平成26年度社会教育関係予算と事業の概要について
    - ・ 大阪市社会教育委員条例の改正について
    - ・ 社会教育・生涯学習施設の動向について
    - ・ 平成25年度市政モニターアンケート「生涯学習について」の実施結果に  
ついて
    - ・ 新しい大都市制度における生涯学習のあり方について(意見具申)について
    - ・ その他
5. 主な意見等について  
(社会教育委員会議への諮問について)
  - ・ 市政改革の流れの中で、子どもを取り巻く環境、区役所と市内で活動している団体  
との関係など、めまぐるしい変化がある。
  - ・ 大阪に住んでいる人が地域を愛することのできる仕組みづくりを構築していくこと

が大切。

- 社会の変動や、市政改革の中でも、地域のコミュニティづくりは、大切。生涯学習を通じて、地域のつながりをどのように作っていくのか。激動の中でも、変わらない基本的な概念を考えていくことが大切。
- 改革の中で、大阪市の教育は、マイナスのイメージが先行しているのが残念。大阪市内でそれぞれに頑張っている人たちがたくさんいる。住みやすい、明るいイメージをアピールできるようにしていきたい。
- 地域コミュニティは大切。はぐくみネット事業や生涯学習ルーム事業を通じて、学校に大人が入り込んでいくことで、子どもが抱える問題が解決できる可能性もある。
- 「人」づくりに投資することが必要。地域で子どもたちや人材育成のために活動している団体とのつながりを大切にしてほしい。地域での活動が縮小すると、地域の体力も落ちていく。子どもを支える活動をしている保護者が地域を支えているという認識をもっと持ってほしい。
- 人が直接集う場としての施設も必要。拠点が変わると、団体の活動も変わっていく。施設廃止後の団体の活動についてのフォローも行政として必要。
- 市民活動をする際に、自由に活動できる環境づくりも必要。例えば、広報は民間レベルでは難しいので、行政でやった方がいい部分と民間に任せる部分の役割分担をしてはどうか。
- いざという時には助け合えるような、ゆるやかなつながりづくりをどのようにしていくかを考えていく必要がある。
- 市民自らが、お互いに教えあうような学習のありかた、市民が自律的に教育について考えていけるような社会のあり方、教育について考えていく必要がある。